



橋渡し研究加速ネットワークプログラム 研究シーズ募集及び特許取得サポート (含 医療機器開発) のご案内

Translational Research Network Program

研究シーズのご応募をお待ちしております

岡山大学拠点は、「健康寿命の延伸を目指した次世代医療」というビジョンの下、他の拠点、支援機関とのネットワーク構築事業に参加することで連携を深め、拠点内のみならず、中国・四国地域の大学、大学病院、研究機関から生み出される優れた研究成果・研究シーズについて、本プログラムを通じ、それぞれの場所での研究実施と特許取得を支援させていただきます。

皆様からの、研究シーズのご応募ならびにご相談をお待ちしております。



Translational Research Network Program

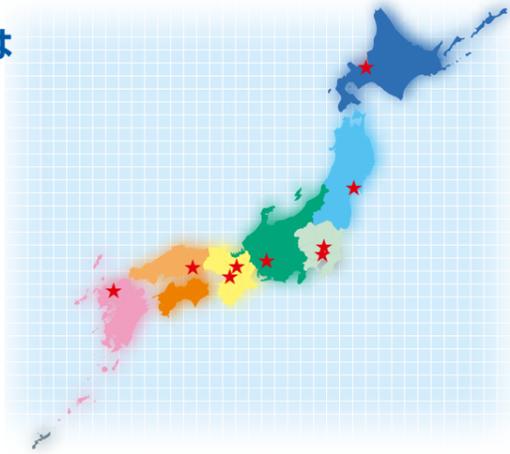
基本方針

学外シーズ支援

岡山大学学内のシーズだからと優先せず、中国・四国地域の大学病院、研究機関、関連病院からのシーズを公平に扱わせて頂き、科学的な評価を最優先する体制となっています。また、支援が決定したシーズ（シーズA）の特許出願において、岡山大学拠点が当該シーズ支援に付帯条件を主張をすることはありません。

橋渡し研究加速ネットワークプログラムとは

目的 本プログラムでは、革新的な医薬品・医療機器等を効率的・効果的に国民へ還元することを目指し、大学等発の有望な基礎研究成果の臨床研究／治験への橋渡しをさらに加速するため、「橋渡し研究支援拠点のシーズ育成能力を強化する」こと、及び「拠点における自己収入の確保を促進すること等により恒久的な橋渡し研究支援拠点を確立させる」ことを目的としています。



拠点の役割

拠点は、2年半で新規シーズ2件以上の医師主導治験の開始を目指し（治験不要の承認申請、先進医療・高度医療の開始、ライセンスアウト等も同様に評価します）、シーズ研究者と連携し、拠点の判断により様々な開発段階にあるシーズ（シーズA、B、C）に関して最適な資金配分を実施する仕組みを含めた橋渡し研究支援を実施します（シーズパッケージ制度）。

シーズA 関連特許出願を目指す基礎研究開発課題

シーズB 関連特許出願済である以下の研究開発課題

- ・非臨床POC取得及び治験届提出を目指す医薬品及び医療機器等の研究開発課題
- ・薬事申請用臨床データ取得を目指す体外診断用医薬品の研究開発課題

シーズC 関連特許出願及び非臨床 POC 取得済であり、健常人又は患者を対象とし、臨床 POC 取得を目指す研究開発課題

■拠点は、これらのシーズの実用化加速のため、以下の内容を実施します。

- ・拠点外シーズを含むシーズ探索、選考
- ・シーズの実用化に向けた開発戦略の策定支援
- ・シーズの進捗管理、評価
- ・シーズの国際展開を目指した、国際的に通用する基準での支援、海外の共同研究機関対応、海外規制当局対応支援
- ・企業とのマッチング活動支援
- ・戦略的な知的財産の確保・活用の支援
- ・迅速な治験完遂を可能とする等を目的としたネットワーク構築

※平成26年度「橋渡し研究加速ネットワークプログラム」研究開発施設共用等促進費補助金 橋渡し研究支援拠点 募集要領（文部科学省研究振興局ライフサイエンス課 平成26年6月）より一部改編引用

シーズ育成プロセス

継続的ステップアップ支援体制

拠点での審査承認でシーズAとして採択された後、有識者が参加する「課題評価委員会」への申請を経て、実開発段階へステップアップしていくことが可能となります。補助金額は複数年支援を基本としトータルで数億円単位となる可能性もあり、正に出口を見据えた研究開発を実践できます。

シーズ育成機能の強化

シーズを開発段階に応じて以下の3つに分類し外部資金獲得までの育成費用を拠点到支援



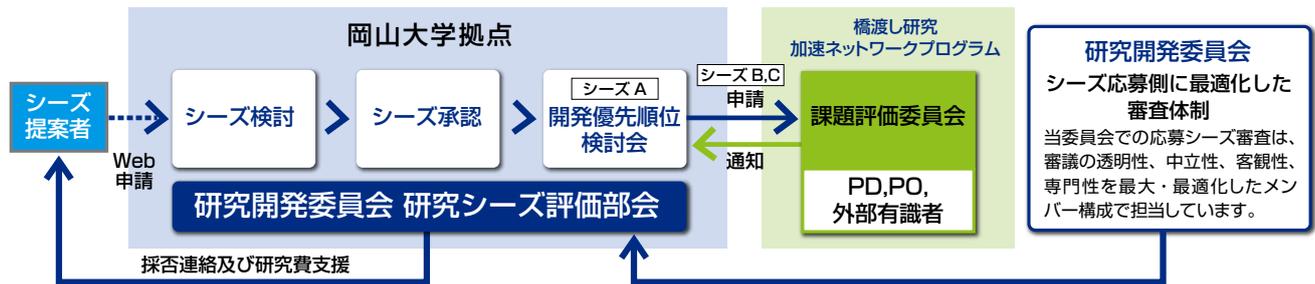
※研究費等の支援期間は原則1年間（審査に基づき継続可）とし、他の競争的資金等の外部資金獲得に努めることが条件。
 ※本事業は28年度で終了するため、平成29年度以降の募集については変更になる可能性があります。

シーズ育成機能

岡山大学拠点が直接支援

特許出願を主目的とするシーズAは、岡山大学拠点到設置した2つの委員会で透明性と公平性を持って審査し、一課題最大500万円の支給を岡山大学拠点到独自に決定できる仕組みです。申請支援も含めご相談ください。

シーズ提案から研究支援決定までの流れ



シーズ提案者は、岡山大学拠点にシーズパッケージ制度を活用した、研究支援申請を求めることができます。岡山大学拠点は、定められたシーズ評価プロセスに従い、申請内容を検討し、シーズ承認可否判断を行います。申請は、本パンフレット記載のホームページにアクセスして頂き、アカウント申請後 Web 上でシーズ基本情報をご登録ください。

URL: <http://seeds.hsc.okayama-u.ac.jp>

研究開発委員会 研究シーズ評価部会 開発優先順位検討会

シーズ応募側に最適化した審査体制

当委員会での応募シーズ審査は、審議の透明性、中立性、客観性、専門性を最大・最適化したメンバー構成で担当いたします。大学組織の意思決定に影響を受けない体制となっており、安心して相談、応募できる環境が整いました。

シーズ支援決定後

シーズ提案者

シーズパッケージ制度での研究支援が決定されると、シーズ提案者は自ら主催する研究実施場所で、研究助成を受け研究を進めることができます。

研究成果をとりまとめ、拠点に関わりなく、独自に特許出願を行うことができます。

シーズAに認定されるケースでは、特許出願に必要な費用の支援を受けることができます。ただし、定期的な研究の進捗について岡山大学拠点に報告をお願いします。本プログラムの規約を遵守して頂くことになります。

■応募大学、研究者の権利（応募された大学及び研究者、全て同等の権利です）

支援を受けたシーズについては、全て応募された大学、研究者に帰属します。拠点としての権利等の主張はありません。岡山大学拠点は、もし応募大学からのご要望があれば、その時点で初めて話し合いを行います。

情報管理

シーズ応募側に最大限配慮

審査結果に関わらず、受領したシーズ情報は厳重に管理され、機密が保全される体制が整備されています。例えば、応募シーズ情報や着想を岡山大学が、勝手に流用・加工・再利用など、他の研究テーマに活用するようなケースは皆無です。



岡山大学病院 新医療研究開発センター

橋渡し研究部 橋渡し研究支援室

〒700-8558

岡山県岡山市北区鹿田町 2-5-1

電話 :086-235-7019

e-mail:kenkyuu-seeds-hyouka@adm.okayama-u.ac.jp